



佐賀市の人口	231,723 人
南川副校区の人口	5,712 人
南川副校区の世帯数	2,182 世帯

(令和2年11月末現在)

発行／佐賀市立南川副公民館

TEL : 0952-45-8919 FAX : 0952-45-2130

つながる南川副 : <http://www.tsunasaga.jp/minamikawasoe/>

〒840-2213 佐賀市川副町大字鹿江422-1

E-mail : kminamikawasoe@city.saga.lg.jp

(つながる南川副)で検索できます。

新年のご挨拶

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの影響で、以前と同じように寄り添うことが難しい年でしたが、皆様より沢山のご支援ご協力を賜り有難うございました。

今年も、地域コミュニティの拠点として親しまれる公民館を目指し、職員一同取組んで参ります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

南川副公民館職員一同

公民館主催事業について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度の公民館主催講座は、事前申し込みによる定員制と致します。

(定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加ご希望の方は、公民館までご連絡ください。(電話 45-8919)

また来館時には、手消毒、マスク着用をお願い致します。

第8回「成人学級」

(南川副老人
クラブ協力)

日 時 : 1月21日(木)

13時30分～15時00分

1月は第3週目の木曜日です。

内 容 : ガンパルーン体操

持ってくるもの : マスク、タオル、お茶

参加費 : 無料

(軽く運動のできる服装でご参加下さい)

講 師 : 健康体操指導者 山岡 弘美氏



第7回「南川副安全安心塾(あんあん塾)」

(まちづくり協議会共催)

内 容 : 新型コロナウイルス感染症について
～正しく知って正しく恐れる～

日 時 : 2月18日(木) 14時00分～15時30分

参加費 : 無料

定 員 : 20名程度

講 師 : 医師 矢野 史也氏・矢野 和紀氏



そば打ち体験道場開催

そば好きな人集合!

自分で打ったそばを食べてみませんか。

そば打ちに興味ある方は是非お問い合わせ下さい。初めての方も大・大・大歓迎です。

日 時 : 2月17日(水) 9:30～13:00

場 所 : 南川副公民館 調理室

内 容 : そば打ち体験

参加費 : 500円(材料及びテキスト代)

定 員 : 10名(事前の予約をお願いします)

持参するもの : タオル、三角巾または帽子、エプロン、
マスク、持ち帰り用容器

講 師 : 川副そばの会

申込先 : 南川副公民館(45-8919)



「海苔漁業について伝えたい」 熱い検討会となりました。

12月17日、海苔漁業の魅力について他地区の方にどのように伝えるか検討会を開きました。「海苔の歴史や生産」「海苔の生産施設までのウォーキング」「海苔の美味しい食べ方」の3グループに分かれ話し合いました。「海苔漁業の変化、苦労はもちろん最終的にはこの自然を守る事が大切だと伝えたい」「中堀も説明しよう、戸ヶ里漁港も見えてほしい」「カセットコンロを用意して目の前で焼いたらどうか」などいろいろな意見が出ました。これらの意見を参考に下記日程で校区外の方を招きます。また一緒に歩いてくださる方等募集しております。

日 時 2月22日(月) 9:30～13:00

内 容 説明 → ウォーキング(公民館→真照寺前→呉服→見学先へ)
→ 試食会

※詳しい内容は、別途回覧チラシにてご確認ください。

希望に満ち溢れた一年になりますように!

12月17日、小鹿幼稚園の福島幹雄さんに南川副公民館の玄関に青竹、松の枝の美しい門松を作っていただきました。言い伝えでは、正月になると家々に「歳神」という神様が訪れます。門松は、この歳神さまが訪れる時の目印となり、身を寄せると言われています。南川副校区の安寧をこの門松に託し、希望に満ち溢れた一年になる事を心より祈ります。



館長の防災ひとくちメモ ～今も残る防災文化の風情～

新年を迎えると各地の消防署で仕事始めの儀式(出初式)が行われます。今では新春の風物詩として定着していますが、その起源は江戸時代までさかのぼるそうです。江戸時代は火災や地震、火山噴火など大きな災害が発生した時期でもあり、消防組織や防災の取組が進んだ時代でもあります。江戸の人たちは大災害が発生するたびに組織や町づくり、防災計画などを考えながら災害に強い都市を築き上げました。災害の歴史から現代に通じる教訓を考えることも必要です。